

雨水浸透路盤材

NS路盤

単粒構造で透水性が極めて高い！
雨水を速やかに浸透させる路盤層



タフタフパーク・グラストロングの路盤層であるNS路盤は、空隙への根の伸長と支持力を併せ持つため、雨水貯留施設の必要な施設内や、街路樹の根上り防止など、緑地以外にも活用できます。

NS路盤内への根の伸長により、固結しにくく浸透機能の維持につながります。



NS路盤は、現地で単粒度碎石・キョーリョクキープ under-砂を混合し、転圧して施工した路盤層です。

一般的な透水係数との比較



公園の芝生 $1.00 \times 10^{-7} (m/s)$ < 透水性アスファルト舗装 $1.00 \times 10^{-4} (m/s)$

上記は一般的な浸透係数。透水係数が高いほど水を通しやすい。公園の芝生・透水性アスファルト舗装は公園の芝生・透水性舗装は、土壌の固結や、経年による目詰まりで、透水性が次第に失われる。

NS路盤 $7.59 \times 10^{-4} (m/s)$

士の透水試験(定水位) (JIS A 1218)

NS路盤(表層・芝部含まず)の透水試験による代表値



透水係数の測定

施工地にて、携帯型ミニディスクインフィルトローメータにより透水係数を測定した。表層・芝部を含む透水係数の測定であること、経年・路床の差により上記透水係数の結果とは異なる数値となっています。

根の伸長比較試験 ①野芝

NS路盤

根が伸長しており、芝生が衰退しても回復が望める。排水性も良く、土壌の固結が生じない。



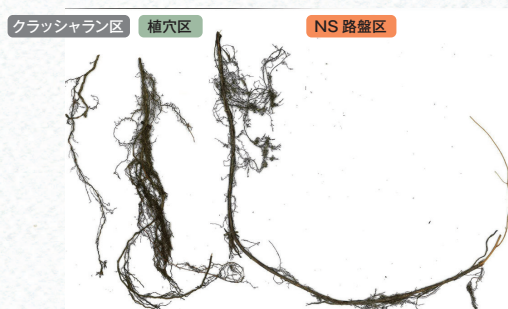
クラッシュランC-40のみ
一旦芝生が衰退すると、根の伸長が乏しいため、自然回復は望めない。排水性が悪く、表層の土壌が固結しやすい。

根の伸長比較試験 ②ケヤキ



クラッシュラン

根が伸長しておらず、植穴との境界かつ表層15cmの位置に細い根が集中していた。



植穴(土壌のみ)

締め固められていないため根の量が多い。根の太さは中間。全方向に向かって根が伸びていた。

NS路盤

空隙に太く長い根が伸長している。斜め下に向かって伸長している。空隙内には湿潤で水の滴る箇所もあり、太い根がそこを通っていた。

横浜市自然観察の森 神奈川県



タフタフパーク/施工後13年経過 $2.06 \times 10^{-4} (m/s)$

日本植生駐車場 岡山県



タフタフパーク/施工後16年経過 $8.08 \times 10^{-4} (m/s)$

桂川ウェルネスパーク 山梨県



グラストロング/施工後1年8ヶ月 $2.38 \times 10^{-4} (m/s)$

登戸つくりと公園 神奈川県



グラストロング/施工後8ヶ月 $7.02 \times 10^{-4} (m/s)$

